

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	被爆二世健康診断調査委託費	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度	担当課室	総務課指導調査室	総務課指導調査室 稲葉 和男				
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-5-4 原子爆弾被爆者等を援護すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「被爆二世健康診断調査事業の実施について」					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当委託費は、被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にかんがみ、希望者に対し健康診断を実施し、被爆二世の健康状況の実態を把握するとともに健康管理に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被爆二世健康診断調査委託費 委託先: 都道府県、広島市及び長崎市(健康診断は、医療機関等へ委託し実施) 対象者: 被爆二世であって健康診断を希望される方							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	176	178	181	175	181	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	176	178	181	175	181	
		執行額	169	175	181			
	執行率(%)	96%	98%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	被爆二世に対し健康診断を実施することによって、健康状況の実態を把握するとともに健康管理に資する。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	被爆二世健康診断受診者数(一般検査)		活動実績 (当初見込み)	人	18,187 (20,160)	17,600 (20,160)	19,298 (20,468)	- (19,750)
			算出根拠	上限単価:8,430円(各検査項目の診療報酬点数を積み上げて算出)				
単位当たりコスト	8,430(円/件)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	委託費	175	181	対象者数の増				
	計	175	181					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状をかんがみると、事業目的や重要性の観点から国費を投入して実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	目的(被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にかんがみ、希望者に対し健康診断を実施し、被爆二世の健康状況の実態を把握するとともに健康管理に資すること)を考慮すると、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	診療報酬改定に基づき、適切に設定されている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	被爆二世健診事業を実施する上で必要な経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	過去の実績を勘案すると、当初見込みに対しおよそ9割ほどの達成率となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	被爆二世の症状の改善、寛解及び治癒を図ることに活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年度は、前年度に比べ健康診断受診者数が増加し、執行率が改善した。引き続き、適正な執行を図って参りたい。平成25年度予算については、これまでの健康診断の受診状況(対象人員)等を踏まえ、対前年度96.7%(6百万円減)の規模に見直しを図った。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は、被爆二世の健康状況を把握し、健康管理を推進するために健康診断を行うものであるが、事業の必要性及び執行の観点からの評価は妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	180	平成23年	157	平成24年	129

厚生労働省  
181百万円

〔委託契約に基づき、事業に  
要する経費を交付。〕

↓  
【委託】

A 都道府県、広島市、長崎市(49都道府県市)  
181百万円

〔委託契約に基づき、被爆二世健康診  
断を実施。健康診断について、医療機  
関等へ委託。〕

↓  
【委託】

B 医療機関等(広島市)  
66百万円

〔医療機関等は、健康診断を  
実施。〕

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.広島市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	医療機関等 健康診断に要する経費	66			
賃金	臨時職員に要する経費	1			
計		67	計		0
B.A病院(広島市)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
健診費	健康診断に要する経費	19			
計		19	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島市	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	67	随意契約	
2	長崎市	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	33	随意契約	
3	広島県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	19	随意契約	
4	大阪府	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	8	随意契約	
5	長崎県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	6	随意契約	
6	神奈川県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	6	随意契約	
7	山口県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	5	随意契約	
8	福岡県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	4	随意契約	
9	兵庫県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	3	随意契約	
10	愛知県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	3	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A病院	被爆二世健診の実施	19	随意契約	
2	B病院	被爆二世健診の実施	6	随意契約	
3	C病院	被爆二世健診の実施	3	随意契約	
4	D病院	被爆二世健診の実施	3	随意契約	
5	E病院	被爆二世健診の実施	3	随意契約	
6	F病院	被爆二世健診の実施	2	随意契約	
7	G病院	被爆二世健診の実施	2	随意契約	
8	H病院	被爆二世健診の実施	2	随意契約	
9	I病院	被爆二世健診の実施	1	随意契約	
10	J病院	被爆二世健診の実施	1	随意契約	